

一話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、活用しよう！

教科書 p.65,66) マーク p.33)

1 話し言葉について、次の()に、後から言葉を選んで入れよう。

▼話し言葉とは、()によって伝えられる言葉である。

▼特徴・「これ」「その本」など、その場にあるものや様子を()によって示せる。

・状況や相手に応じて、内容を()できる。

・重要な部分を大きな声で言うなど、音声を()しながら伝えられる。

・「……ね。」など念を押ししたり、()を求めたりする言葉が多く使われる。

・重要な内容は、繰り返し、相手に確認を求める。

・「市立(いちりつ)」「私立(しりつ)」など、同じ発音の言葉は、読み方を変えるなどして区別する。

〈省略 こそあど言葉 同意 調整 音声〉

2 次の話し言葉の文には、内容を伝えるためにどんな工夫がされているか考えよう。

▼今日五日のお昼に、講演会があるよ。内容は食の大切さ、「食べること」の大切さについてだよ。

五日、火曜日のお昼だからね。

3 書き言葉について、次の（ ）に、後から言葉を選んで入れよう。

▼書き言葉とは、(①) () によって伝えられる言葉である。

▼書き言葉は、目の前にいない相手にも情報を伝えることができるが、次の点に注意が必要である。

- ・「いつ・どこで・だれが・何を」などの基本情報を書き、数や程度、物の名前などは(②) () に示す。
- ・誰にでも伝わるように、基本的に(③) () で書く。
- ・漢字・平仮名・片仮名、(④) () を適切に用いる。
- ・(⑤) () (二だ・である)か、(⑥) () (二です・ます)のいずれかに統一する。

〈 敬体 常体 文字 共通語 具体的 句読点 〉

4 次の文を書き言葉に直してみよう。

ロッカーに入れてあったちりとりが一個足りないんだよ。最近使ったのはだれだ？
心当たりのある人は知らせてほしい。次からは、使ったものは責任をもって片付けてね。

5 66ページ下段の新聞社の人へのインタビューの内容を、クラスの人への報告の文章に直してみよう。

(新聞社の人へのインタビュー)

※ワークp.33の問題に取り組んでみよう！

一話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、活用しよう！

教科書 p.65,66) マーク p.33)

1 話し言葉について、次の() に、後から言葉を選んで入れよう。

▼話し言葉とは、(① 音声) によって伝えられる言葉である。

▼特徴・「これ」「その本」など、その場にあるものや様子を(② こそあど言葉) によって示せる。

・状況や相手に応じて、内容を(③ 省略) できる。

・重要な部分を大きな声で言うなど、音声を(④ 調整) しながら伝えられる。

・「……ね。」など念を押ししたり、(⑤ 同意) を求めたりする言葉が多く使われる。

・重要な内容は、繰り返し、相手に確認を求める。

・「市立(いちりつ)」「私立(しりつ)」など、同じ発音の言葉は、読み方を変えるなどして区別する。

〈 省略 こそあど言葉 同意 調整 音声 〉

2 次の話し言葉の文には、内容を伝えるためにどんな工夫がされているか考えよう。

▼今月五日のお昼に、講演会があるよ。内容は食の大切さ、「食べること」の大切さについてだよ。

五日、火曜日のお昼だからね。

・重要な内容については、繰り返ししたり、言い換えたりして念を押している。

・「食」を「食べること」と言い換え、聞いて分かりにくい言葉をわかりやすくしている。など

3 書き言葉について、次の（ ）に、後から言葉を選んで入れよう。

▼書き言葉とは、(① 音声) によって伝えられる言葉である。

▼書き言葉は、目の前にいない相手にも情報を伝えることができるが、次の点に注意が必要である。

- ・「いつ・どこで・だれが・何を」などの基本情報を書き、数や程度、物の名前などは(② 具体的) に示す。
- ・誰にでも伝わるように、基本的に(③ 共通語) で書く。
- ・漢字・平仮名・片仮名、(④ 句読点) を適切に用いる。
- ・(⑤ 常体) (「だ・である」) か、(⑥ 敬体) (「です・ます」) のいずれかに統一する。

〈 敬体 常体 文字 共通語 具体的 句読点 〉

4 次の文を書き言葉に直してみよう。

ロッカーに入れてあったちりとりが一個足りないんだよ。最近使ったのはだれだ？
心当たりのある人は知らせてほしい。次からは、使ったものは責任をもって片付けてね。

ロッカーに入れてあったちりとりが一本足りません。最近使用した人はだれですか。
心当たりのある人は知らせてほしいです。次からは、使用したものは責任をもって片付けて下さい。

5 66ページ下段の新聞社の人へのインタビューの内容を、クラスの人への報告の文章に直してみよう。

(新聞社の人へのインタビュー)

校閲部は、新聞の記事に間違いがないか調べる所です。新聞社では、毎日大量の情報を短時間で紙面にしています。しかし、字の間違いや、事実と合っていない記事があつては大変なので、校閲部で厳しくチェックしています。

※ワークp.33の問題に取り組んでみよう！